

茜の空



令和4年11月7日
練馬区立石神井南中学校
学校便り11月号

「冬の到来に向けて」

～生徒の成長を願った今後の健全育成～ 生活指導主幹 田川 慎

10月は秋が深まり寒くなったなどと思えば、日中20℃を越える日があるなど、寒暖差が大きい日が続いていました。大人でも体調を崩しやすい季節です。学校では生徒に向けて「栄養をしっかりとる、水分をこまめにとる、夜は早めに寝る」といった基本的な生活リズムを大切に過ごそう指導しています。

さて、本校では今年度の1学年から順次、新しい標準服を導入していますが、10月31日より冬服着用期間が始まりました。学生服、セーラー服、そしてブレザーを着て、身だしなみの整った生徒の姿を見ていると、冬季の始まりを感じるとともに、どちらの標準服も本校の落ち着いた校風に合っていて、なおかつ引き締まった雰囲気を感じる毎日です。

ところで、本校では毎月生活目標を設定しています。11月は「安全行動を考える～学校内外問わず、自他の安全を考えていこう」を掲げ、いくつか具体的な計画をしています。

まず、11日の「セーフティ教室」では、生徒はインターネット犯罪に関わる内容を学習します。世の中はインターネットが当たり前の時代です。しかし、正しい使い方をしなければ、大きなトラブルに巻き込まれる、または他人を巻き込んでしまうといった危険性と常に隣り合わせです。インターネットとこれから長く付き合っていく生徒にとって、トラブルに遭わないための大事な学習になりますので、しっかり学んで今後に生かすことを期待しています。

翌日の12日には「自転車安全教室」があります。実際に交通事故の場面をプロのスタントマンが再現し、自転車のルール違反がなぜ危険なのかを視覚的に理解する内容です。冬場は暗くなるのが早かったり、積雪等で路面が凍結したりと、危険な因子が沢山あります。自分が事故に遭わないだけでなく、相手に怪我をさせないためにも、改めて自転車の乗り方を考える有意義な時間にしてほしいです。自転車の運転に関しては、「信号無視」や「右側通行」といった違反に対して積極的に「赤切符」を交付する運用が始まったことも報道されています。

インターネットも自転車も、どちらも大変身近な道具です。各御家庭におかれましても、是非この機会に、生徒の安全な生活に関して御指導をお願いいたします。

さて、早いもので令和4年も残すところ2ヶ月を切りました。人生の中でも中学生は成長著しい時期です。生徒には1年間で成長したことや改善点をしっかりと振り返り、さらなる成長や、改善への手だてについて考え、来年の取り組み方につなげてほしいと思います。来年の干支は「兎」です。兎が跳ねるように、生徒の皆の気持ちが跳ねるような年になると良いです。3学期は、3年生は進路への挑戦、校外学習、そして卒業式、2年生はスキー移動教室、1年生は校外学習と大きな行事が控えています。一つ一つが大成功となるよう、生徒全員、協力して取り組んでくれることを期待しています。

👏 修学旅行へ行ってきました 👏

3年生は10月5日から広島・京都方面へ、2泊3日の修学旅行へ行ってきました。感染防止対策も含めた一人一人の自覚ある行動と御家庭の協力を得ながら、お陰様で大きな事故や病気、コロナ罹患もなく「楽しく充実した時間」を過ごすことができました。

1日目のテーマは広島での平和学習。被爆者の方による講話、平和資料館見学等の活動です。折しもウクライナでの情勢が毎日のように報道されている状況にある今、大変意義深い学習となりました。

2日目、3日目は京都での班行動です。活動を終えた生徒の表情からは、事前学習の成果を発揮し、仲間と共に充実した時間を過ごせた充実感が伝わってきました。また、宿舎でのイベントと言えばレクリエーション。こちらは大変工夫を凝らしたものでした。感染防止対策のため、従来のような一堂に会しての催しができない中、レク係の生徒はタブレットを活用してオンライン配信による部屋別クラス対抗のクイズ大会を企画するなど、与えられた環境の中でも皆が楽しめるよう知恵を絞りました。そして、その思いに皆が応え、楽しい時間を過ごすことができました。



この3日間で実際に訪れて見たこと、聞いたことの全てが、これから平和を目指し、国際社会を生きる上で力になるとともに、仲間との一生の思い出になったのではないかと思います。

以下は、平和記念公園での「セレモニー」で代表生徒が捧げたメッセージの言葉です。

77年前、広島に一発の原子爆弾が落とされ、一瞬にして、たくさんの人の命が奪われました。事前の学習でも学んだように、信じられないような苦しみや悲しみがありました。今、ロシアがウクライナに侵攻をしているように、これは決して“過去の出来事”であるだけでなく、明日を平和で幸せに暮らすために、生かさなければいけないことです。

そのためにも、まずは思いやりをもって行動したりなど、わずかにでも自分には何ができるかを考えることが大切だと考えます。

これからも、平和な世界をつくるために私たちは考え、行動していくことをここに宣言します。 生徒代表 萩原 慎太郎



★ 生徒会役員が選ばれました ★

10月14日（金）は生徒会の大きな行事の一つである、役員選挙が実施されました。立会演説会は今年もオンライン配信で行われ、どの候補者も堂々とした態度で力強く訴え、「自分たちの手で学校をより良くしていきたい」という思いが伝わるものでした。投票は区の選挙管理委員会からお借りした投票箱を使用して行われました。生徒会役員のもと、新たな生徒会活動が楽しみです。



✍️ 先生方の座右の銘を紹介します ✍️

4月に生徒会主催で行われた対面式で、1年生に向けて教員一人一人から「座右の銘」が発表されました。校内に掲示するとともに、学校便りでも紹介しています。

優しく・楽しく・全力で

1学年 伊藤 真一

もとからある言葉ではなく、私が普段生活する上で気にかけている言葉です。

- ① 優しく…周りの人に優しく接することはもちろんです。ただ、単に笑顔で優しく接することだけではなく、ときには相手にとってためになることであれば厳しく接することも、1つの優しさだと思っています。
- ② 楽しく…京都のお坊さんの法話で「つまらない、退屈だと感じる世界を、楽しい世界に変えるのはあなたしかいない」という話を聞きました。人に楽しさを与えてもらうのではなく、いつでもその場で最大限楽しもうという心や工夫を忘れないように。
- ③ 全力で…いつでも、目の前のことに力を注ぐことはすごく大変です……。でも、とりあえず目の前の可能なことを頑張ろうとすることは出来ます。頑張る姿は必ず誰かが見てくれています。いつでも……。全力！！

精神的に向上心のないものは馬鹿だ

1学年 新山 洋平

「精神的に向上心のないものは馬鹿だ」

とある小説の有名な台詞にこんな言葉があります。大学生の主人公が異性との関係に悩んでいる時に、親友から投げられた言葉です。この親友は勉学を究めるために自分にも他人にも厳しく、後にこの言葉によって深く苦悩します。

この小説と出会ったのは大学生の時です。私自身この言葉に苦悩したことがある訳ではありません。が、妙にこの言葉が今も頭の中に残っています。「精神的な向上心」とはなんだろうか。ふと考える瞬間があります。スマホ、ゲーム、動画、漫画…娯楽の多い現代の中で自分を律し自分で向上心をもって生活をしていくというのは想像以上に難しいことなのかもしれません。かれこれ十数年、ふとした時に自分に問いかけ、自分を律する言葉となっています。

大切なものは目に見えないもの

3学年 古澤 有紀子

これはある有名な童話にでてくる言葉です。本当に大切なものは心で見なくてはよく見えない。肝心なことは、目に見えないのだ。という一節の言葉です。私はいつもこの言葉の意味を忘れてはいけないなと思います。

現実世界を生きていると、つい単純に形として目に映る事象や、見た目というものに囚われそうになります。しかし、その形の本質がどんなものであるのか、真実の姿が何であるのか想像し見極めようとする中で、大切なものに気づくことが出来るののかもしれません。

私たちには目に見えないものを想像し、それらを創造する力があります。それは思いやりであったり、純粋さであったり、素直さや優しさなのかもしれません。大切なものを見失わず、いつも心の目で見られる人間でありたいと思います。